説明資料

公立中学校等の部活動改革についての山口県の取組

令和４年１１月１２日（土）
山口県教育庁　学校安全・体育課
指導主事　杉山　喬洋

本県の取組

１　実践研究の実施
防府市（牟礼中学校）・周南市（秋月中学校）・美祢市（美東中学校）

２　やまぐち部活動改革推進協議会の開催
第１回：６月２４日、第２回：１０月１９日
第３回：令和5年２月を予定

３　県・各市町における連携体制の構築
（１）県・市町担当者情報交換会(オンライン)の定期開催
（２）市町による検討・運営会議等への県教委担当出席による指導助言

４　県関係各課の連携体制の構築及び推進計画の策定に向けた取組
（１）県教委及び観光スポーツ文化部関係課による担当者会議の開催
（２）県推進計画策定に向けた検討・協議

防府市

○　実践研究拠点校：防府市立牟礼中学校

○　実施主体　　：防府市教育委員会

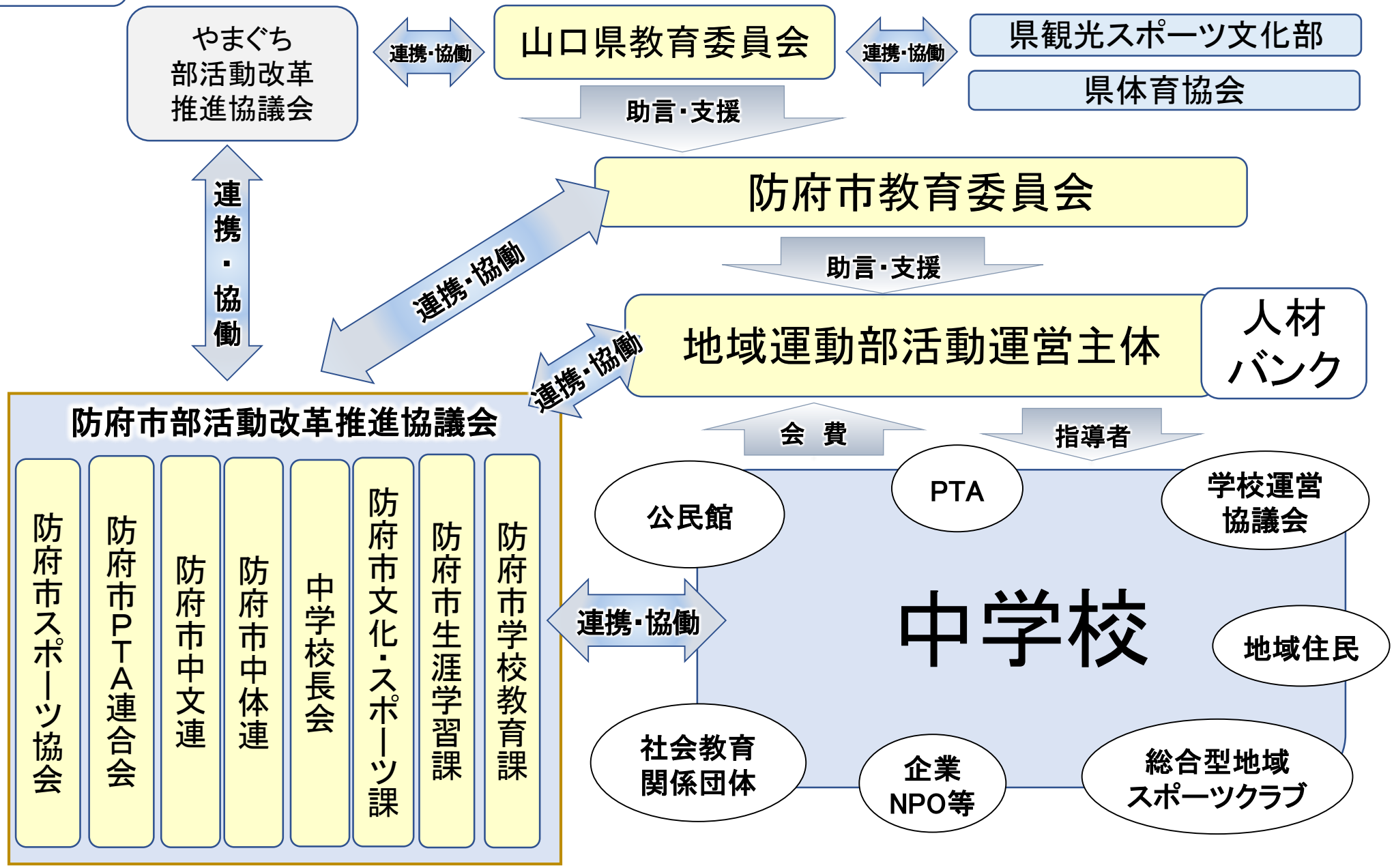
・Ｒ３から実践研究を実施

・実践研究拠点校の取組から明確になった課題等をもとに、

市全体での地域移行に向けた取組を推進

R4

「地域部活動推進事業」実施体制



中学校部活動を地域部活動に

現在 ➡（少子化、働き方改革等）➡ ３年以内

学校

教職員
部活動指導員
外部コーチ

学校部活動

クラブ管理事務局

市内各会場

クラブ指導員

地域クラブ

小・中学校の施設
市の施設
（公民館、スポーツセンター、球場など）
民間の施設
（スイミングクラブなど）

地域の指導者
スポ少指導者・団体指導者
学校教職員・愛好家　など

目　的
・大会等での活躍
・普及、技能習得
・仲間と楽しく

①児童生徒、保護者、学校教職員等への部活動改革の背景・趣旨・方向性の的確な周知と理解促進

- 部活動に関する現段階での意向調査
  対象　市内小学校３～６年、中学校１・２年
  　　市内中学校教職員

- 部活動の地域移行に関する説明用チラシ
  「中学校部活動を地域部活動に」
  対象　市内小学校全児童

○部活動に関する現段階での意向調査

- 対象　市内小学校３～６年、中学校１・２年
  市内中学校教職員
- 実施時期　令和４年５月～６月
- 実施方法
  中学校教職員は、グループウェアを利用
  小・中学生は、グーグルフォームズを利用
- アンケート項目
  休日部活動の参加の有無、活動目的
  希望する活動種目・内容、活動場所
  部活動の地域移行に関する不安

② 市スポーツ関係部局を始め、関係機関・団体等との連携体制の構築

・スポーツ協会関係者会議にて説明会
・クラブ設立に関する現段階での意向調査
・クラブへの協力依頼に関する意向調査

③ 市部活動改革推進協議会の開催

・令和４年２月（立ち上げ）
・令和４年度は、年４回の開催予定

市部活動改革推進協議会での意見

【費用負担】

・R3実践研究では

会費：一人あたり15,000円程度

内訳：指導者謝金・交通費、保険料等

負担額

負担者

検討が必要

市部活動改革推進協議会での意見

【平日の活動】

- 平日と休日で活動を完全に分けることはできない
- 連携をとることになり、負担は増える
- 土日だけの移行で本当に働き方改革になるのか

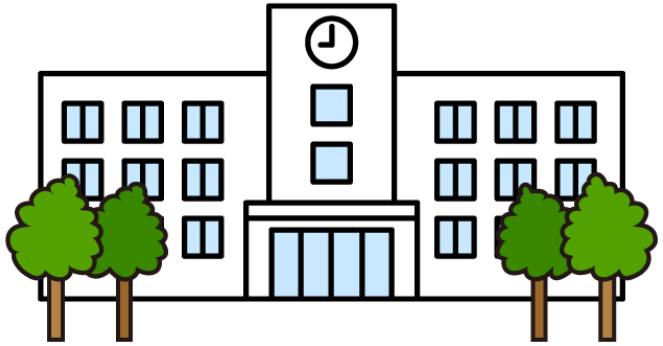
平日も含めた休日の地域における
スポーツ環境の整備充実

市部活動改革推進協議会での意見

【活動場所・施設設備】

ほうふしぜんたい
防府市全体

活動場所



市の施設

**公民館、球場
スポーツセンター　など**

・生徒の移動手段
・備品の管理
・学校施設の施錠
・活動場所の割り当て

周南市

○　実践研究拠点校：周南市立秋月中学校

○　　実施主体　　：周南市教育委員会

・Ｒ３から実践研究を実施

・実践研究拠点校の取組から明確になった課題等をもとに、

市全体での地域移行に向けた取組を推進

現在の課題

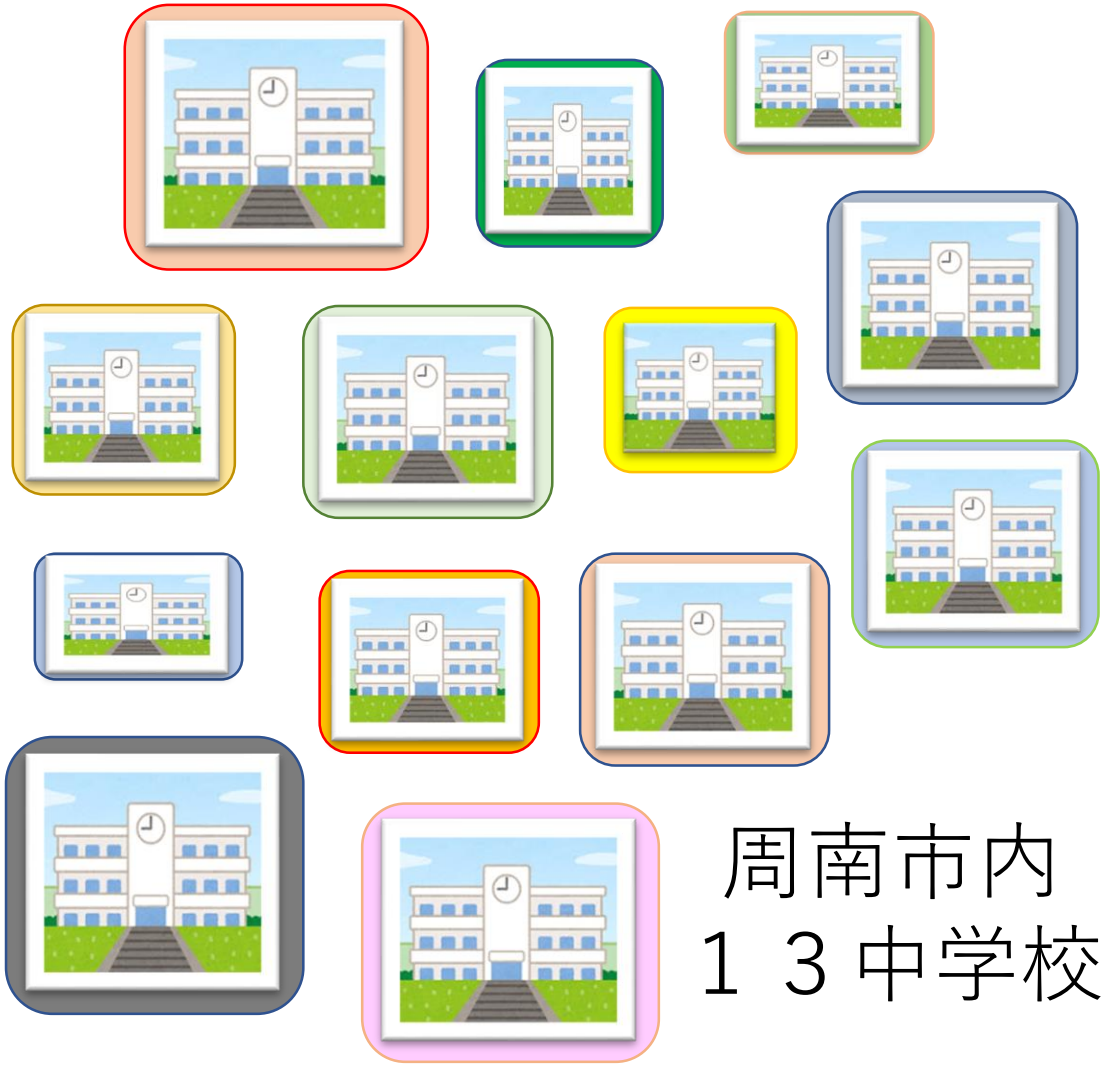
・人材確保

・活動場所（音楽室）

・活動内容に対する生徒のニーズ

→持続可能な学校部活動の地域移行

「学校単位から」



周南市内
１３中学校

「地域単位へ」

周南市

・市内中学生の「やってみたい」に応えることができる環境づくり
・多様な地域で、多様な世代が、多様な文化・スポーツ活動に
参加できる環境づくり

「周南市文化・スポーツ活動」のゴールイメージ（学校教育課案）

～市内すべての中学生の「やってみたい」に応えられる環境づくり～

～多様な地域で、多様な世代が、多様な文化・スポーツ活動への参加が可能な環境づくり～

文化芸術活動

「多様な文化芸術に親しむ場」
「コンクール等への出場をめざす場」

文化芸術活動関係事務局

スポーツ活動

「生涯スポーツ、競技スポーツ等多様なスポーツに親しむ場」
「大会等への出場をめざす場」

スポーツ・生涯スポーツ等関係事務局

主管課：周南市文化スポーツ課
（移行期は学校教育課、文化スポーツ課で連携・協働）

やまぐち部活動改革推進協議会

概　要

　国が示す公立中学校等の部活動の段階的な地域移行を図ること等を踏まえ、本県の子どもたちが自らの興味・関心に応じてスポーツや文化に親しめる機会確保に向けた新たな体制整備等の検討

協議内容

「運動（文化）部活動の地域移行に関する検討会議」提言等を踏まえ、

①　本県の部活動の地域移行の方向性
②　諸課題に対する具体的方策　　等

スケジュール

第１回：令和４年６月２４日　第２回：令和４年１０月１９日
第３回：令和５年２月（予定）

県・市町担当者情報交換会（オンライン）の定期開催

スケジュール
●…開催
○…予定

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
●		●	●	●		○		○	○	○

情報交換の内容

市町の取組

協議会等の開催

関係機関・団体等による協議会等の開催及び準備

実態把握

アンケート調査等の実施の検討

普及・啓発

部活動の地域移行に係る適切な周知が重要

諸課題について

実施主体・指導者

- 実施主体（スポーツ・文化芸術）の整備
- 市町の範囲を超えた広域での連携体制
- 指導者の確保方策・資格取得方策
- 教職員等の兼職・兼業等の整理

支援方策・会費等

- 活動場所への移動手段
- 会費、指導者謝金、施設使用料・管理 等

大会の在り方

- 大会出場資格・運営　等

改革の方向性

休日からの移行

○ 指導者や活動場所等が平日に比べて確保しやすい
△ 平日と休日で指導者が異なる
△ 中体連大会運営はどうなるのか
△ トラブル発生時への対応

平日を含めた移行

○ 指導者が変わらない
△ 平日の指導者の確保
△ 下校後の活動時間及び活動場所
△ 下校後の移動（交通）手段

地域の実情に応じて、課題・取組方法も様々

市町による検討・運営会議等への県教委担当者出席による指導助言

部活動の地域移行に係る各市町の関係者相互の連携体制の構築と取組の趣旨・内容等の周知及び理解促進を目的とし、県担当者の会議出席による説明・助言等

庁内担当者会議の定期開催

本県の子どもたちのスポーツ・文化活動の機会の確保・充実に向けて、庁内関係部局との連携体制の構築を図るとともに、今後の改革の方向性と諸課題への検討・協議

※　およそ1か月に1度のペースで開催。

県推進計画の策定

（抜粋）運動部活動の地域移行に関する検討会議提言

○ 国は、この目標時期を踏まえ、ガイドラインを今年度早期に改訂し、休日の運動部活動の段階的な地域移行を開始する令和５年度から３年間を運動部活動の改革集中期間として位置づけ、**すべての都道府県において、休日の運動部活動の地域移行に向けた具体的な取組やスケジュール等を定めた推進計画を策定し、それを基に各市町村においても推進計画を策定することを規定する**ことが適当である。

○ 各地方公共団体においては、この計画に基づき改革集中期間に地域スポーツ環境整備のための取組を重点的に行っていくことが必要である。

県推進計画の策定

目指す姿

少子化の中でも、将来にわたり、本県の子どもたちがスポーツや文化芸術に継続して親しむことができる機会を確保

県推進計画の策定（イメージ図）

県・県教育委員会

推進計画策定WG

【観光スポーツ・文化部】
- スポーツ推進課
- 文化振興課

【教育庁】
- 教育政策課　教職員課
- 地域連携教育推進課
- 高校教育課
- 学校運営・施設整備室
- 義務教育課　学校安全・体育課

WGによる推進計画の策定作業

やまぐち部活動改革推進協議会

意見聴取

情報共有

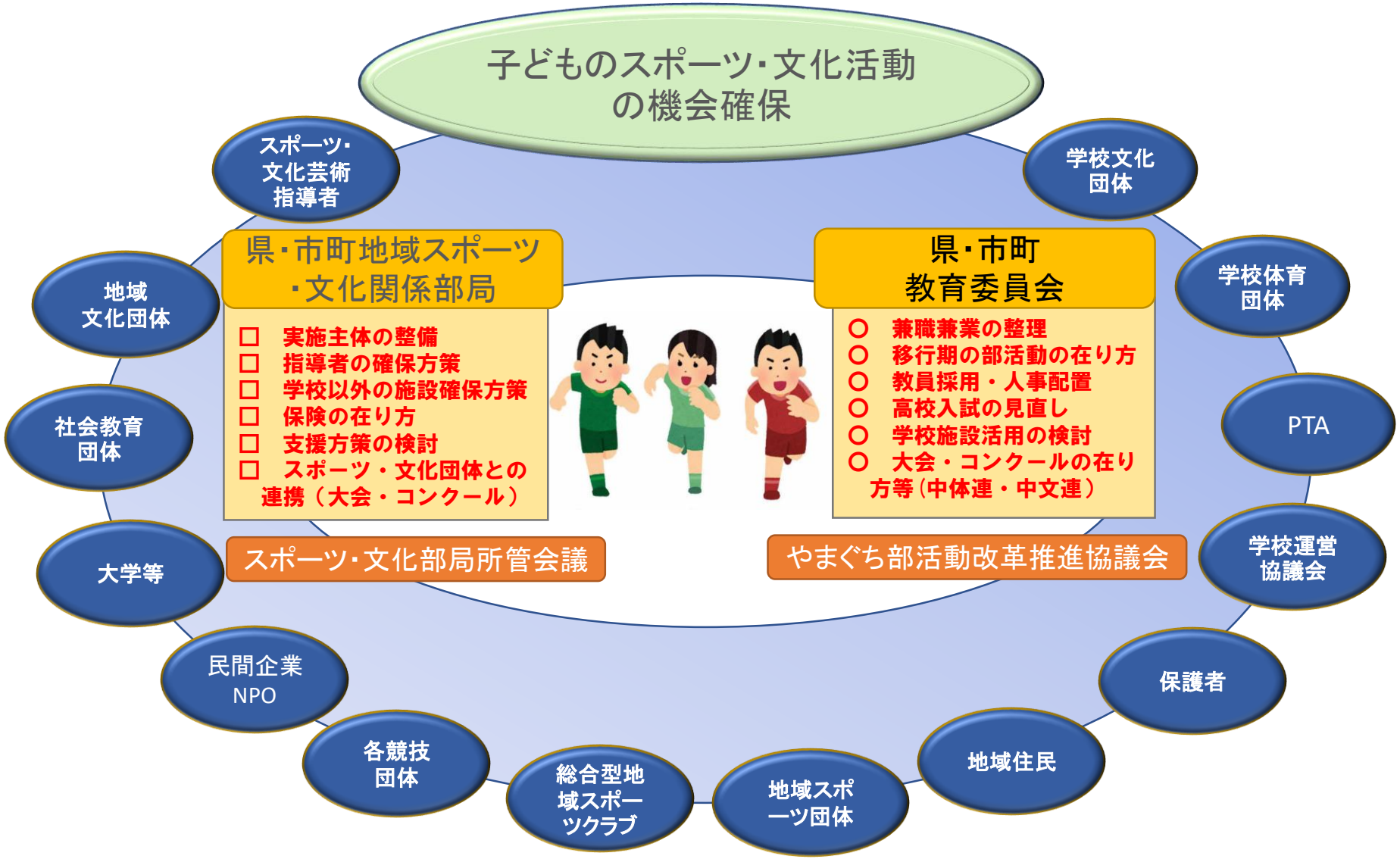
市町教委
市町

諸会議による審議　等

成　　案

県推進計画の方向性

- ○　国の改訂ガイドラインの内容を踏まえて策定
- ○　提言（スポーツ庁・文化庁）を参考
- ○　運動部活動・文化部活動を併せて策定
- ○　地域の実情に応じた取組ができるよう配慮
- ○　県計画を基に市町が計画策定することから、**できるだけ早期**に策定

「子どものスポーツ・文化活動の機会確保・充実に向けた部活動改革」イメージ図

○　中学生の子どもたちが自らの興味・関心に応じてスポーツや文化活動に親しめる機会を確保できる新たな環境を構築するという目標を達成するため、行政・各団体・学校・地域が一体となって推進